

勤 善 懲 惡 官 詭 錦 画 圖 解

第廿九號



當六月廿七日此のこと
 町の質屋小倉某の娘おとつ
 ちや東京根津八重垣

司所より駒込へ通ふ元加州邸の新道

古池のはらりを通じみ大いなる松の
 木の倒れさう有やて動きたしるふ
 驚きてよくくれば、蝮蛇をけりしるふ

大きに驚て膽魂も身みそ、ま走り
 歸りて臥くるさう三日経て死さるま

府内小左様の事有さうきと思はる
 れど元大名や、きといふもの、廣大なるもの

ふて深藪なる山林をともつれば、蝮蛇も棲は
 きさうもつらむとあう、吞まれぬらうハ

別条を、膽をまへな、死ぬほどの
 こゝにあつたれど今年十六歳の小婦

ふては無理もさう、つらむべき
 ことなり

時習舎主人誌
 笹木芳瀧画

出版所
 本町四丁目
 藤井時習舎